

石高神社報

第十五号

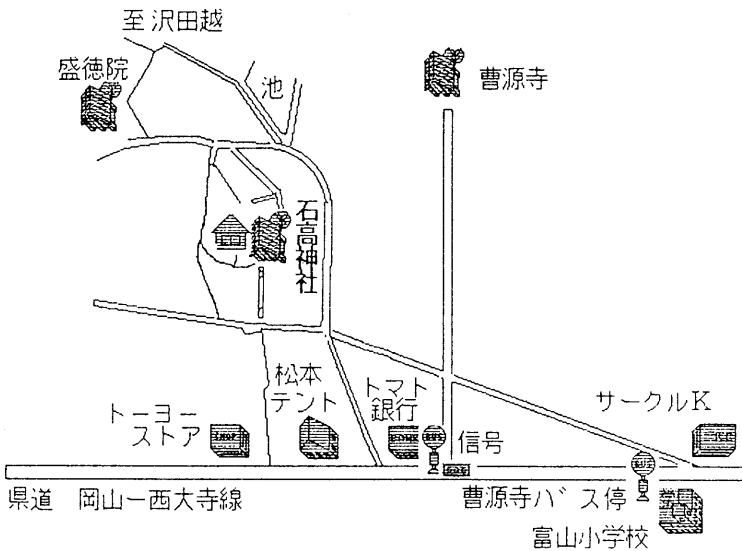
発行日 平成九年十月十五日
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆
発行所 岡山市円山八五三 石高神社

石高神社への道筋

昔、当神社は今より北手の高倉山（金蔵山の東の山）の嶺上に鎮座していましたが、氏子区域が山の北側（山北）と山の南側（山表）にわかれて広範囲にわたっています。このため、氏神様の石高神社の所在地をご存じない方もおられるようです。そこで、今回は道案内を致しますので、どうぞ機会を見つけてお参りください。図のように、当神社は池田家の菩提寺である曹源寺のすぐ西側の小さい山の上にあります。最寄りのバス停は、「曹源寺」です。山北からだと、天満屋バスステーションから東山經由西大寺方面行の両備バスに乗って約二十分です。

自家用車で来られる場合は、県道から曹源寺口の信号を入ってすぐ左に曲がるのがわかりやすいでしょう。表参道の石段の下にも短時間なら駐車できますが、自動車参道がありますのでご利用ください。この道は神社がある山（宮山）の東側を回って北側から山の上に登るようになっていきます。なお、行き止まりになっていきますので、御本殿の裏に駐車された方が良いでしょう。

また、山北から歩いて来られる場合は、沢田の恩徳寺前の沢田大池の土手を登って、沢田越しと呼ばれる道を通ると良いでしょう。操山遊歩道の一部になっていますので、頂上部は結構人通りもあるようです。



修理について

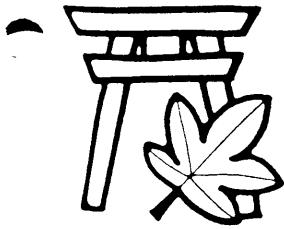
神社構造物全体の老朽化が進み、あちこち修理の必要に迫られています。ここ十数年来、至急修理しなければ手をつけられなくなるような箇所から少しずつ直していく方針でやってきております。

今回は、土塀の修理と便所の設置を中心に検討してまいりましたが、いよいよ今年度後半から具体的に進めていくことになりました。

土塀の修理につきましては、すでにかなり崩れており、完全に元に戻すことは費用の面から不可能になっております。そこで金額を決めて、その範囲内でできるだけ良い方法で修理することになりました。

便所につきましては、数年後に下水道が通る予定になったこともあり、今回はとりあえず仮設便所（電気・水道なし）を設置して様子を見ることになりました。すでに六月始めに表参道を上がったところの東側に設置しましたのでご利用ください。

他に表門の東側灯籠傾き修理を計画していますが、こうした修理に関わる費用は、氏子の皆様のご浄財によるほかはありません。つきましては、近々趣意書を配布し、御寄進のお願いをさせていただきます。御予定にしておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



年中行事 七五三

男の子は数え年の三歳と五歳、女の子は三歳と七歳になる年の十一月十五日に、無事な成長と立派な大人になることを願い、神様に祈るのが七五三の祝いです。大人の厄年同様、子供のこの年ごろは、子供が発達していく過程でのヤマと考えられます。七五三の始まりは五代將軍綱吉が幼少のころ病気がちだったために、吉日である十一月十五日に五歳の祝いをしたことにあるといわれています。もともと昔から紐落とし、袴着、髪置きといった祝いがあり、これらが原型となつています。

石高神社でも、十一月の休日および十五日には七五三祭を行います。午前中にお参りください。

宮山の立ち木 手入れについて

今年二月九日に宮山の立ち木の手入れにつきまして作業奉仕のご協力をお願いしましたところ、五十七名の方々が参加してくださいました。おかげを持ちましてかなりきれいになりました。厚くお礼申し上げます。昔のような松林にもどすことはできませんが、裏の自動車参道周辺に残っているマツを生かすことを中心に、鎮守の森らしい宮山に再生したいと願っています。なお、この冬にも計画をしておりますので、その節はよろしくお願い申し上げます。